

# Coquard Loison Fleurot

ココール・ロワゾン・フルーロ

一躍トップ生産者の仲間入りを果たした新星ドメヌ 国際市場ではまだ稀少な存在



ドメヌ・ココール・ロワゾン・フルーロは、長い間、主にフランスの国内市場だけに焦点を絞ってきたため、国外で見かけることは滅多にありませんでしたが、4代目当主レイモン・ココールの2人の娘がドメヌを法人化し、娘姉妹の子ども2人が中心になってドメヌの運営に当たることになってからは、国際市場へと販路を拡大するようになり、卓越したテロワールに相応しい賢明なブドウ栽培と醸造技術によってワインのクオリティを新たな次元へと押し上げたことで、その評判は世界の知るところとなりました。

現在レイモン・ココールの長女シルヴィアン・フルーロの娘クレール・フルーロが国内外でのワインの販売とマーケティングを担当し、次女マリーズ・コラドの息子のトマ・コラドが栽培・醸造を担当しています。畑の選定や購入については、2人で決めています。現在はグラン・エシゼゾー、エシゼゾー、クロ・ヴァージョ、シャルム・シャンベルタン、クロ・ド・ラ・ロッシュ、クロ・サン・ドニといった素晴らしい6つの特級畑を所有しています。

トマは、ブルゴーニュで最も著名な醸造家の一人セバスチャン・カティアールの親友であり、偉大なワインは、まずブドウ畑で作られるという哲学をセバスチャンと共有しています。セバスチャンの畑もトマとクレールの畑も、畑仕事に膨大な労力を投じることによって、ブルゴーニュでも一握りの最も上質な畑の1つとして名声を博しています。トマとセバスチャンはよくお互いのワインをテイastingしては頻りに意見交換を合っています。トマの造るワインは、個々のテロワールの持ち味がよく映し出されたピュアで透明感のある味わいが特徴です。

■2018年ヴィンテージ情報■ 《ヴィノス2020年1月掲載記事(ニール・マーティンのレポート)》:トマ・コラドによると、2018年は9月8日に収穫を開始した。周囲の生産者よりも若干遅めの収穫だが、最も遅摘みというわけではない。ロワゾン・フルーロのワインは全て、ブドウを除梗しているが、最近の一部果梗を残す実験も試みている。実際、2018年のワインの試飲を終えた後、同じクリュから収穫された2種類のワインを出され、果梗を一部残したものと残していないものを飲み比べてどちらが良いかと尋ねられた。(私個人としては、果梗を一部残したワインがより好ましく感じられた。ヴィンテージによっては、今後2~3年のうちに果梗を一部残したワインが世に出てくるかもしれない。)2018年のロワゾン・フルーロのワインは、実に素晴らしい将来性が感じられた。クロ・ヴァージョに関しては既に個人的に購入を決めた。クロ・サン・ドニのワインも傑出しており、その品質はグラン・エシゼゾーを凌ぐほどのものだった。瓶詰めを終えたワインを飲むのが今から待ちきれない。

《ジャンシス・ロビンソン・ヴィンテージ・レポート》: 湿潤な冬と猛暑を特徴とするこの年は、比較的豊作で、ブドウが非常に理想的な熟成度に達したため、ヴィラージュ・クリュやレジョナル・クリュのワインでさえも探究してみる価値のあるヴィンテージとなった。2018年は、ジューシーで豊かな果実味が溢れる心地よい味わいを持つやや早飲みタイプの赤ワインが作られた。

## 2018 Bourgogne Rouge

上代価格 ¥4,800(税抜)

ブルゴーニュ・ルージュ

産地:コート・ド・ニュイ地区 品種:ピノ・ノワール 100% 新樽率:10%以下

★ヴィノス86-88点:2018年のブルゴーニュ・ルージュは、黒スグリとラズベリーを思わせる香り豊かなブーケを呈している。非常にピュアで、くっきりとした輪郭を備えた香り。味わいはミディアムボディで、繊細なタンニンに黒系果実の豊かな果実味、緻密な後味が感じられる。ブルゴーニュのレジョナルワインにしては、極めて上質な逸品である。

《飲み頃:2020-2025年 | 2020/1掲載》



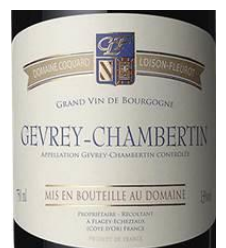
## 2018 Gevrey Chambertin

上代価格 ¥10,000(税抜)

ジュヴレ・シャンベルタン

品種:ピノ・ノワール 100% 畑:レ・シャン・ペリエ(プロション村)、アン・ソングジュ、ヴィーニュ・ベル 畑面積:0.21ha

★ヴィノス90-92点:2018年のジュヴレ・シャンベルタン・ヴィラージュは、香り豊かで極めてフローラルなブーケを持ち、ダークチェリーやラズベリー、軽やかな煙草のアロマがグラスの中で緩やかにほぐれてゆく。非常に滑らかな舌触りを持つ調和のとれた味わいで、軽やかなスパイスの風味を纏った赤系果実の風味が口中に感じられる。終盤に向かうにつれて重量感と握力のある味わいを増してゆく。非常にきめ細やかで緻密な後味は、殆どブルミエクリュのクオリティに達している。《飲み頃:2021-2034年 | 2020/1掲載》



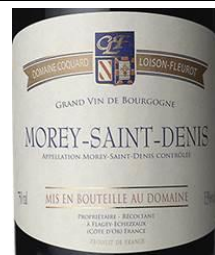
## 2018 Morey Saint Denis

上代価格 ￥10,000(税抜)

モレ・サン・ドニ

品種:ピノ・ノワール 100% 畑:レ・クレ・ジヨン、クロ・ソロン、アン・スーヴレイ、コルヴェ・クルニュー

★ヴィノス 89-91 点:2018 年のモレ・サン・ドニ・ヴィラージュは、ブラックベリーやラズベリージャムの香りにヒマラヤスギと軽やかな下草の香りが溶け合う緻密なブーケを持つ。最初はスパイシーで若干の旨味を伴うミディアムボディの味わい。バランスがよく、しっかりとした酸が後味まで途切れなく続く。余韻の長さは中程度で、胡椒の風味が仄かに香る。今後 10 年以上にわたり格別な飲み頃が楽しめる。《飲み頃:2021-2031 年 | 2020/1 掲載》



## 2018 Chambolle Musigny

上代価格 ￥10,800(税抜)

シャンボール・ミュジニイ

品種:ピノ・ノワール 100% 畑:レ・ガメール 畑面積:0.8ha 新樽率:30%

★ヴィノス 88-90 点:新樽率 30%で熟成させた 2018 年のシャンボール・ミュジニイ・ヴィラージュは、赤いベリー系果実の豊かなブーケに、仄かなブラウンスパイスやローム質の大地の香りがほんのりと感じられる。味わいはミディアムボディでタンニンは繊細。軽やかなスパイスの風味を帯びた赤系ベリーの果実味が白胡椒やセージの風味と美しく溶け合い、やや濃縮したフレッシュな後味を生む。上質な逸品。《飲み頃:2022-2032 年 | 2020/1 掲載》



他誌評価:★ジャンシス・ロビンソン 17/20

## 2018 Vosne Romanée

上代価格 ￥10,800(税抜)

ヴォーヌ・ロマネ

品種:ピノ・ノワール 100% 畑:カルティエ・ド・ニューイ、レ・ヴィオレット、バス・メジエール 畑面積:1.68ha

★ヴィノス 87-89 点:2018 年のヴォーヌ・ロマネ・ヴィラージュのアルコール度数は 14.4%。豊かな黒系果実とブルーベリーの円熟した果実味にきめ細やかな酸が感じられ、白胡椒とタイムの香りが後味に広がる。酒齢の若いうちが飲み頃。《飲み頃:2021-2027 年 | 2020/1 掲載》



他誌評価:★ジャンシス・ロビンソン 16.5/20 点

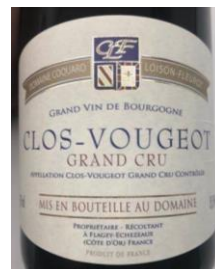
## 2018 Clos de Vougeot

上代価格 ￥28,000(税抜)

クロ・ド・ヴージュ

品種:ピノ・ノワール 100% 畑:ボード・バス〜グラン・モーペルテュイまで地続きの 0.66ha の区画 新樽率:50%

★ヴィノス 90-92 点:2018 年のクロ・ド・ヴージュ・グラン・クリュは、アルコール発酵に最も長い時間を要したワインで、円熟した贅沢なブーケは、ブラックチェリーやブルーベリー、カシスの香りを呈している。味わいはミディアムボディで、豊潤なタンニンにきめ細やかな酸、生き生きとした心地よい活力が感じられる。握力のあるややオーキーな後味は、暫く寝かせることで纏まりのある味わいに仕上がらるだろう。3~4 年の瓶内熟成が望ましい。《飲み頃:2024-2038 年 | 2020/1 掲載》



他誌評価:★ジャンシス・ロビンソン 17+/20 点

## 2018 Clos de la Roche

上代価格 ￥30,000(税抜)

クロ・ド・ラ・ロシュ

品種:ピノ・ノワール 100% 畑:レ・シャピオ、レ・モシャン 畑面積:1.16ha 植樹:1933 年&1954 年

★ヴィノス 92-94 点:2018 年のクロ・ド・ラ・ロシュ・グラン・クリュは、黒系ベリーや砕いた石、仄かなトリュフやヨードの香りを思わせる華やかなブーケがグラスの中から溢れるように香る。非常に円熟した味わいで、口当たりが甘く、コーラの香りを帯びた黒系果実が層を成す非常に鮮やかな後味が広がる。《飲み頃:2022-2040 年 | 2020/1 掲載》



## 2018 Echézeaux

上代価格 ￥33,000(税抜)

エシェゾー

品種:ピノ・ノワール 100% 畑:レ・トウル、アン・オルヴォー、レ・プーライエール 畑面積:1.33ha

★ヴィノス 92-94 点:2018 年のエシェゾー・グラン・クリュは、薫り高く豊かなブーケを持つワイン。スマレの花やアヤメの花びらの香りに、ブラックチェリーや野生の苺のアロマが鮮やかに感じられ、オレンジの種の仄かな香りが時と共にほんのりと表れる。味わいは、繊細なタンニンを持つ非常に調和のとれたミディアムボディで、ヴェルヴェットのように滑らかで官能的なテクスチャーが感じられる。実に美しく魅惑的なエシェゾー。《飲み頃:2022-2042 年 | 2020/1 掲載》



他誌評価:★ジャンシス・ロビンソン 18/20 点